

平成 25 年度技術士 2 次試験受験対策、願書業務内容記述例

【業務内容】

厳しい施工条件を克服する調達計画の立案（平成 17 年 2 月～18 年 9 月）

【業務内容の詳細】

（業務概要及び立場・役割）小泊海岸に約 9000 本の丸太が漂着ゴミとして着岸、応急災害工事で撤去することとなった。私は、当工事における現場総監督員として、丸太撤去工法の企画・立案を行った。

（課題及び解決策）小泊海岸沖合は、冬場から春にかけてヤリイカの好漁場が形成され、多くの漁船が訪れる。これらの漁船は、隣接する小泊漁港を基地としてヤリイカ漁に出る。このため、漂着した丸太が再び漂流すれば、漁船への衝突事故が懸念される。まさに、丸太撤去には一刻の猶予も許されない状況であった。解決策として、我が社の機械力、マンパワーを総動員しての丸太撤去を提案したが、2 日に一度は時化が続く海象状況が行く手を阻んだ。

（解説策の提案）このような時化が続く状況下では、連続した作業日の確保は難しい。しかし、沿岸での丸太撤去作業が確保できない時化であっても、イカ漁では全く問題がなく多くの漁船が沖に向かう。そこで、解決の方向性としては、丸太の漂流防止が必要と考えた。そうすれば、作業日の確保できない日でも、丸太の漂流による事故防止が可能である。そこで、解決策として仮設工による丸太の漂流防止対策を提案した。具体的には、損失防止工として用いられる汚濁防止マットの敷設の代わりに、当地方で使用されている大某網の漁網を敷設し、丸太を漂流させない対策である。この対策により、風を利用し漂着した丸太を確実に撤去でき、工事は無事竣工した。

（成果）撤去作業の途中でも幾度となく時化に見舞われたが、丸太は海上に漂流することもなく、漁船被害は発生しなかった。また、丸太の再流出を気にせず作業ができたことで、余裕をもった工程が可能となり、人員や作業機械の集中的な配置が不要となったことによるコスト削減も併せて実現できた。